

令和5年梅雨前線による大雨及び台風第2号による災害の支援に関する要望書

令和5年6月2日から3日にかけて台風第2号及びそれに伴う前線の活発化により、本市は記録的な降雨により、市民の生活や農業分野に関して市内のいたるところに大きな爪痕を残しました。

特に、広い範囲での道路の冠水や法面の崩壊により多数の通行止め路線があり、円滑な交通の妨げになりました。

さらには住宅の床上、床下浸水が発生し雨水の汲み上げや避難を余儀なくされました。また、冠水による農作物の被害及び農業用水路については吸出しや土砂の流入が多く見受けられます。

このような折り、市議会にも多くの市民から大雨被害による窮状を訴える声が寄せられております。

つきましては、市民がいち早く安心して生活できるよう、下記のとおり要望いたしますので、特段のご配慮を賜りたく慎んで申し上げます。

記

1. 市内全域における被災状況を正確に把握すること。
2. 被災者が今後も安心して生活ができるよう、被災した施設等の再建に対して、市単独による助成・減免制度及びその他必要な支援策を講じること。併せて、国及び県等が実施する支援策を積極的に活用し、情報が的確に周知されるよう必要な措置を講じること。
3. 被災した民地から発生した被災ゴミの円滑な処理に対する支援を行うこと。また、被災ゴミを無償で受け入れること。
4. 越水した河川の管理について抜本的な見直し及び整備計画の推進を国、県に対し要望すること。

以上

令和5年6月9日

鉾田市長 岸田 一夫 殿

茨城県鉾田市議会議長 岩間 勝栄